

3類型	鈹工業品	通巻番号	6-25-005
地域資源名	大内塗	認定日	平成25年10月16日
地域	山口県山口市	所管省庁	経済産業省

事業名：「大内塗」の技術を活用した新しい生活の器「山口陶漆器」や「インテリア商品」「小物雑貨」等の新商品開発及び販路開拓事業

会社名：有限会社中村民芸社

所在地：山口県山口市大内御堀4138番地

連絡先：TEL: 083-927-0619
FAX: 083-927-4619

H P: <http://nakamuramingeisha.jimdo.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

山口県の伝統的工芸品である「大内塗」は、約600年前に栄華を誇った大内文化から受け継がれており、漆器や大内人形で有名である。しかしながら近年売上高の減少や職人の高齢化等により産地を取り巻く環境は厳しくなっている。

本事業では、これまで培ってきた漆塗りの技術を活用して「萩焼」と「大内塗」が融合した新しい生活の器「山口陶漆器」や、拭き漆技法による「インテリア商品」、大内人形をベースにした「小物雑貨」等を開発し、新たな販路の開拓・拡大に取り組む。



【山口陶漆器】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

「山口陶漆器」は、最終工程で焼成することにより強度が増し傷がつきにくくなることや鮮やかな発色を得られることが特性である。また、陶器のデザイン性の自由度や色のバリエーションが可能な点で類似商品との差別化が可能である。拭き漆技法による「インテリア商品」や大内人形をベースにした「小物雑貨」等も、当産地ならではの特徴ある商品としてアピールできる。



【大内人形飾り台】

◆市場性

「山口陶漆器」は、漆が持つ高級感や、形や色といったデザインの自由度が高く消費者の様々なニーズに対応できると見込める。「インテリア商品」や「小物雑貨」等については、大内人形の購入者からの要望をもとに開発した商品があることや、贈答用として、また、女性を中心とした市場ニーズが見込める。



【照明用インテリア商品】

◆販路

山口県内の既存販路に加え、首都圏をはじめとする高級雑貨店やセレクトショップ、ギャラリー、百貨店、通販事業者等への販路開拓を進める。



【イヤホンジャック】

地域資源における関係事業者との連携

「山口陶漆器」の開発においては、「萩焼」「大内塗」の地元産地組合や行政、公設研究機関等の支援のもと進めてきており、「インテリア商品」「小物雑貨」等を含めた今後の事業展開においても、産地組合事業者や地元支援機関との連携のもとで取り組むこととしている。